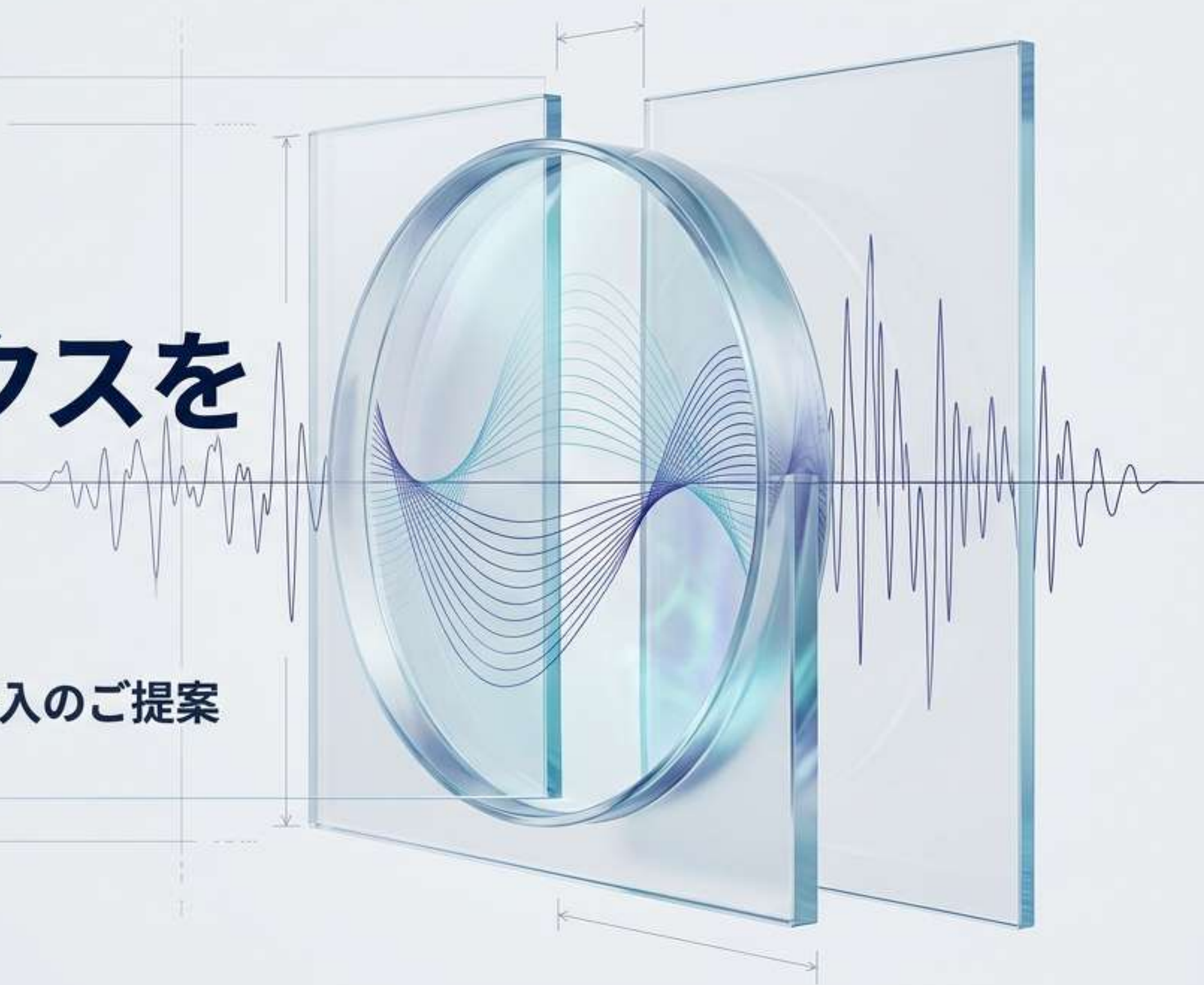


採用評価の ブラックボックスを 解き明かす

グループディスカッション向け AI対話品質・心理分析レポート導入のご提案



従来のグループディスカッション評価が抱える構造的限界



人間の観察能力の限界



主観と認知負荷の限界

面接官は「何を言ったか（発言内容）」を追うだけで精一杯であり、「どう言ったか（声色・間・トーン）」という無意識のサインを見落としします。



自己アピールのバイアス

候補者は「評価されるための仮面」を被ります。自己評価アンケートや表面的なロジックだけでは、本質的な性格は測れません。



関係性の見落とし

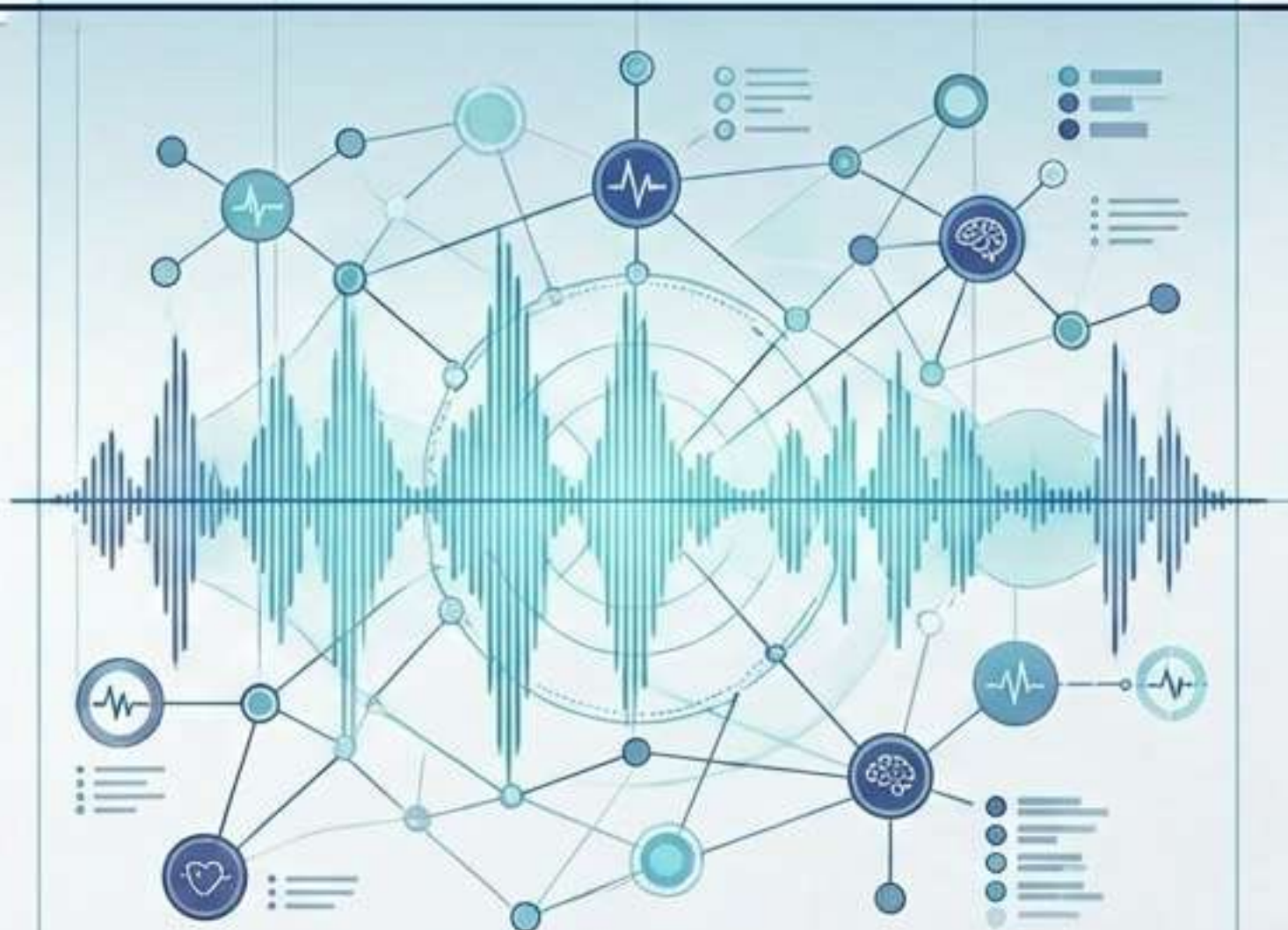
「誰が一番多く発言したか」に評価が偏り、チームの心理的安全性を担保している「隠れたバランサー」を正當に評価できません。

「何を言ったか」から「どう対話したか」の深層データ抽出へ

表面的な発言
内容
(テキスト)



隠れた心理状態
・関係性
(音声波形・感情)



従来の文字起こし分析では、感情を込めずにスクリプトを読んでも「100点」になってしまいます。

本ツールは、会話の「音声波形データ」と「対話の構造」をAIで解析し、候補者の隠れた心理状態、ストレス耐性、そしてチーム内での真の役割を客観的に可視化します。

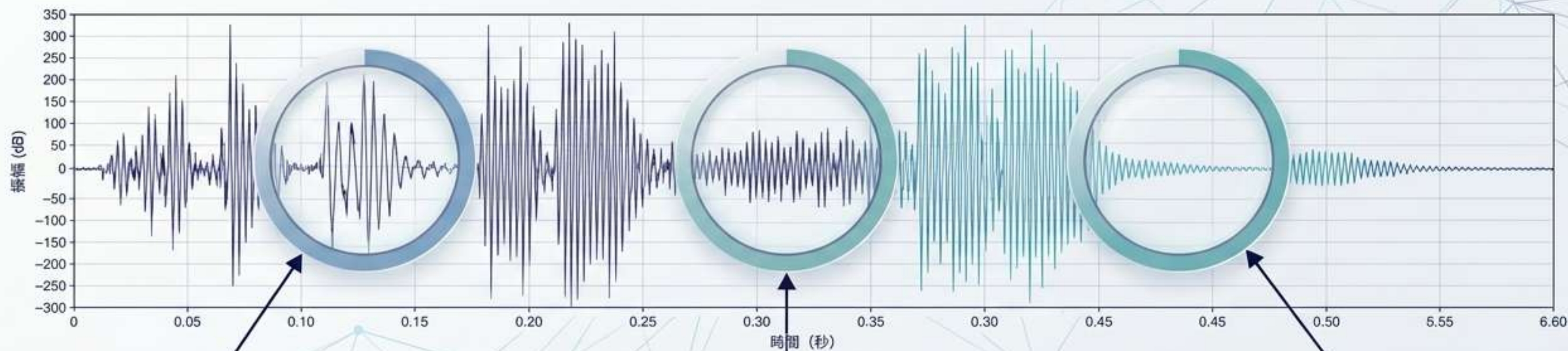
評価基準のパラダイムシフト：人間の観察 vs AI対話品質分析

評価次元	従来のGD評価	AI対話品質分析（本提案）
客観性	面接官の主観・疲労度に依存。 バイアスの影響を避けられない。	音声波形とNLP（自然言語処理）による 100%データ駆動型評価。 
分析深度	表面的な論理性や、用意された 自己PRの内容に終始。	無意識の防衛反応、緊張、ストレス耐性 まで深層から抽出。 
相関関係	「声が大きい人」「よく話す人」 が目立ち、高評価になりがち。	誰が誰をサポートしたか、チームの暴 走を誰が止めたかをネットワーク図で 客観的に可視化。 

既存の選考プロセスに組み込みやすい4ステップの診断フロー



コア技術①：声の「波形」が暴く、 無意識のサインとストレス反応



防衛反応の検知

相手から指摘を受けた際、身構えたり、防御の言葉を使う瞬間の声のトーン変化を捉えます。

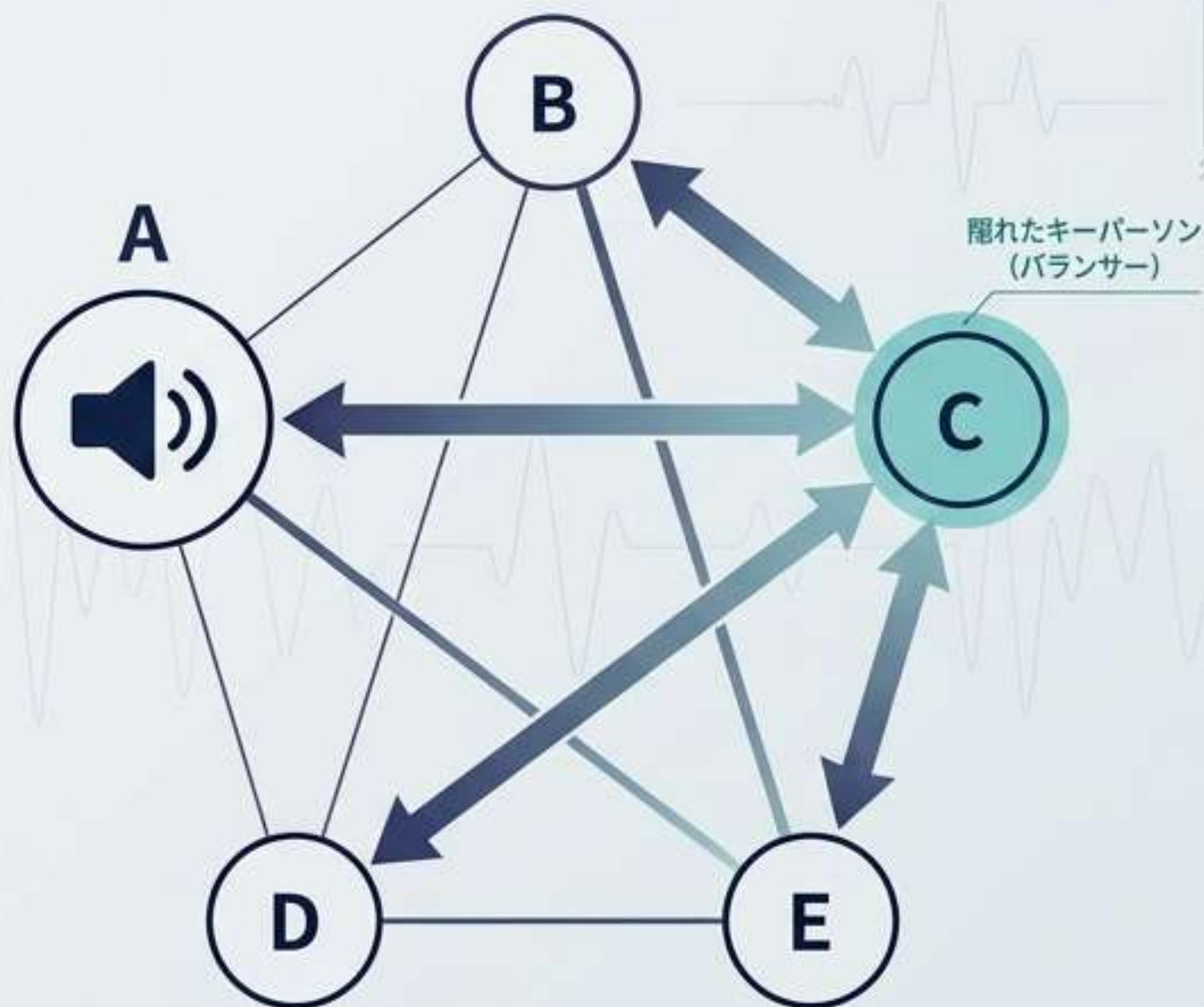
緊張と心理的負荷

「反対意見を言う時に声が震えている」といった、微細なマイクロトレマー（声の震え）を解析し、ストレス耐性を測定します。

心理的安全性

誰と話している時に声がリラックスしているか、あるいは警戒しているかを判定します。

コア技術②：チーム内での「本当の役割」と影響力をネットワーク可視化



「隠れたキーパーソン」の発見

表面的な発話量だけでなく、誰の相槌が場を落ち着かせたか、誰が他者の意見を引き出したかを客観的に分析します。

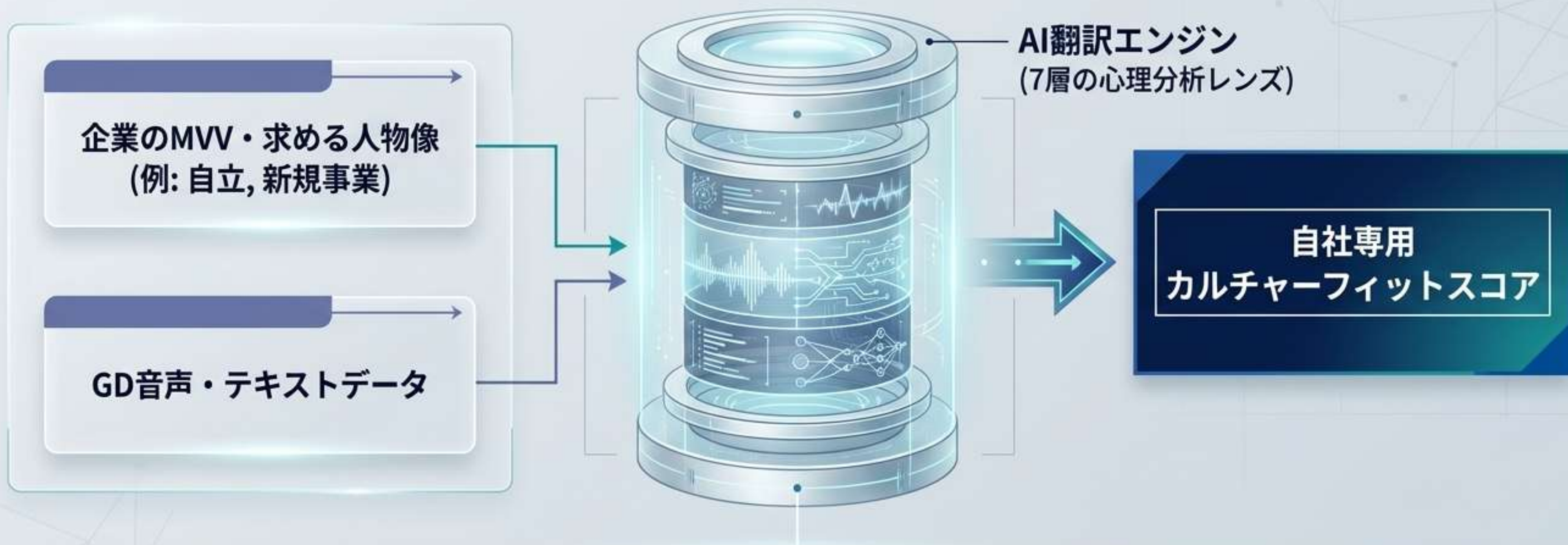
対人影響力のマッピング

特定の候補者の暴走を、誰が論理的にコントロールしたか（あるいは同調したか）を相関図として出力します。

相性の予測

入社後、どのようなタイプの上司・同僚とシナジーを生みやすいか（または衝突しやすいか）をデータから予測します。

コア技術③：自社のMVVと候補者を結ぶ「企業と人材の翻訳機」



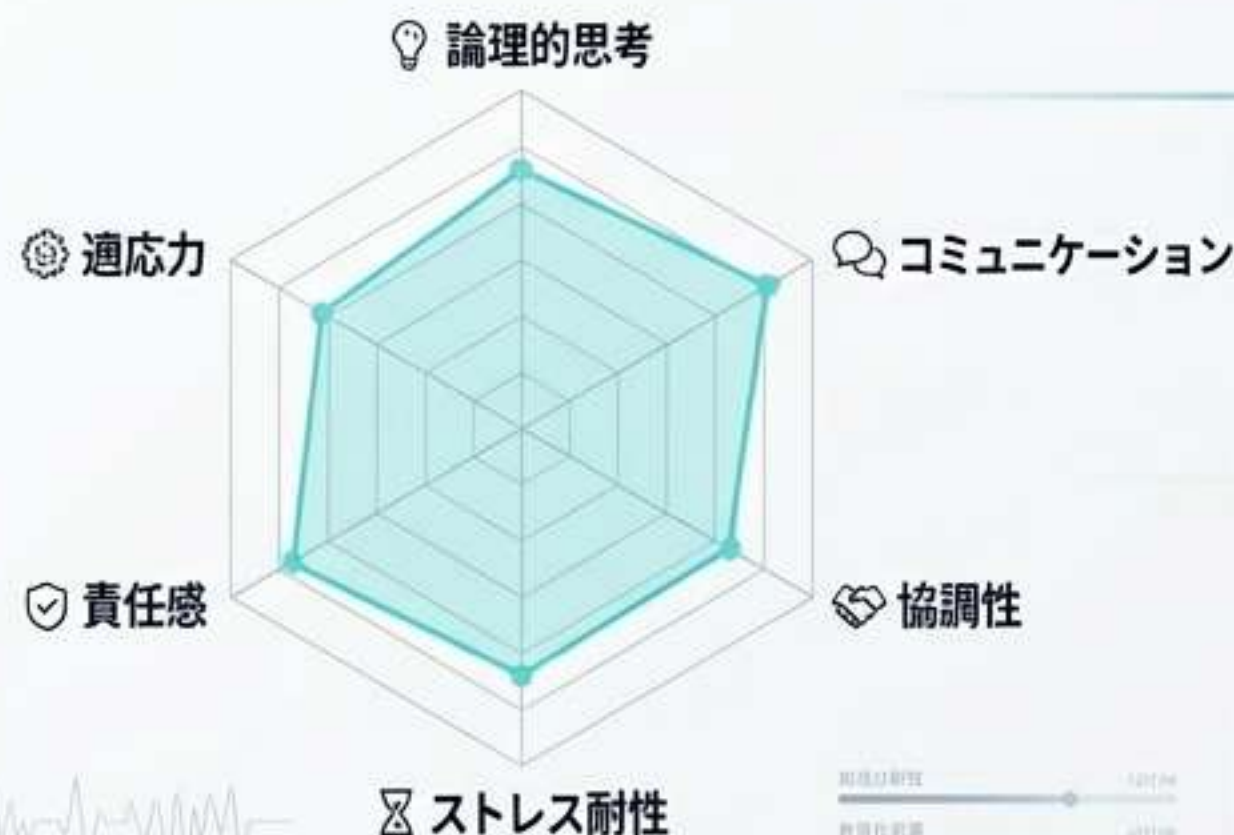
単なる「一般的なコミュニケーション能力」の採点ではありません。
ベースとなる心理分析と音声波形データに、「貴社の経営戦略・MVV」を掛け合わせます。
貴社の求める人物像に対して、候補者の無意識の行動特性がどう接続するかをAIが自動翻訳します。

採用判断を決定づける「候補者別プロフィールレポート」

候補者別プロフィールレポート



候補者名: _____
ID: [xxxxxx]
応募職種: _____



基本特性の言語化

「この候補者の素直さは、意識的な勇気で成り立っています。」

ストレス時の傾向

「反対意見への耐性低。予期せぬ反論に防衛的コミュニケーションの兆候あり。」

マネジメント・育成のヒント

採用後のオンボーディングに向けた超具体的アドバイス
を出力。「意見を言ったら、まず具体的に承認しましょう。
否定から入ると次から黙る可能性があります。」

面接官の直感を裏付ける、AIが発見する「隠れた特性」事例

人間の観察 (表面的な振る舞い)	AIの深層インサイト (波形・関係性分析)
「すぐに同意し、 協調性が高そうに見える」	 防御のための相槌が連続している。 心理的警戒心が高く、深い納得には至っていない。
「議論の中心にはおらず、 発言が少ない」	 場の空気が悪化した際、的確なタイミングで 介入し対立を中和している。(優秀な баланサー)
「論理的でハキハキと 意見を主張できている」	 予期せぬ反論を受けた瞬間に音声波形に強い 緊張の震えが発生。ストレス耐性に懸念あり。

エンタープライズ水準のセキュリティと機密データ保護



セキュアな 処理環境



データ解析はセキュアな
Google Workspace環境等を
ベースに構築・処理され、
外部への漏洩を防ぎます。

厳格な秘密保持 (NDA)



候補者の音声および会話内
容は、分析目的のみに利用
され、厳密なNDAの下で処理
・破棄されます。

分析データの マスキング



企業の機密情報や個人名が会
話に含まれた場合でも、AIに
よる記号化・マスキングにより
安全に処理することが可能です。

次回の選考（または社内会議）で「お試し分析」を実施しませんか？

01

録音の実施

次回のグループディスカッション、またはマネージャー会議等をZoomやNottaで録音いただきます。（特別な機材は不要です）

02

データ受渡と分析

音声データ（および話者の基本情報）をセキュアな環境でお預かりし、初期設定と深層心理分析を行います。

03

レポートのフィードバック

数名分のサンプルレポートを提出。人間の目では見えなかった「対話の質」の可視化を、実際のデータでご体感いただきます。

パイロット版導入のご相談を承ります